

FFGの強み

培ってきた強み

内 容

失敗を恐れない企業風土

健全な危機意識を持ちつつ、
高い感受性と失敗を恐れない
行動力・決断力を有するカルチャー

2007年4月、福岡銀行と熊本ファミリー銀行(現在の熊本銀行)によるFFG設立と同時に、グループ全社員の統一的な価値観となるグループ経営理念と、それに基づくブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を掲げました。その半年後の2007年10月に親和銀行が合流し、これまでに前例のない3つの銀行を傘下に持つ広域展開型金融グループが誕生しました。

2019年4月には十八銀行との経営統合を実現し、九州全体での金融

シングルプラットフォーム・ マルチブランド

規模の利益と効率性を同時に追求できる
地銀の経営統合に最も適した経営スタイル

FFGは、福岡銀行・熊本銀行・親和銀行・十八銀行の4つの銀行で形成されており、福岡・熊本・長崎の各県において、地域の皆さまに古くから親しまれてきた各行の歴史やブランドを維持しながら、一方で、事務システムや商品・サービスといった内面を共通化することで、4つの銀行をあたかも1つの銀行のように運営する「シングルプラットフォーム・マルチブランド」

高度かつ多様な人財

高い専門性と多様なスキルを兼ね備え、
最適なソリューションが提供できる人財

FFGは、異なる歴史や文化を有する各銀行で培ってきた営業基盤や情報、ノウハウ等を結集し、相互の強みを活用することで、人財やカルチャーの融合を図ってきました。FFGでは、「従業員は企業の財」という意味を込めた“人財”という言葉を使用しています。この言葉のとおり、企業の成長のためには、お客さまのニーズにお応えできる高い専門性と多様なスキルを兼ね備えた人財が必要であり、そのために人への投資を積極的

グループ総合力

お客さまやお取引先のあらゆるニーズに
お応えできる関連会社を含めた総合金融力

FFGは、全22社の関連会社を有し、証券、保険、コンサルティングをはじめ、マーケティングやベンチャー支援といった、お客さまや取引先企業のあらゆるニーズにお応えできる総合金融グループです。これだけの機能を自前で備えている金融グループは珍しく、銀行と関連会社を含めた組織力が他社にはないFFGの強みです。また、グループ経営にあたっては、各銀行や関連会社を含めた「グループ全体最適」の考えのもと、グループ

広域かつ稠密なネットワーク

九州全域をカバーする
広域展開型地域金融グループ

FFGが地盤とする九州は、経済規模が約44兆円で日本の1割の経済と呼ばれています。基幹産業である自動車・半導体・農業の生産拠点が多数集積しているほか、最近では再生可能エネルギーやヘルスケアといった新たな産業の芽も育ち始めています。また、域内経済の一体化が進むとともに、地理的に近いアジアとの経済交流も活発で、インバウンド需要など、今後の成長が期待できる魅力的なマーケットです。

確固たる営業基盤

お客さま本位の営業により構築した
地銀トップクラスのお客さま基盤

FFGは、設立から3年間の助走ステージでの経営インフラ整備やバランスシート改善を経て、加速ステージ(2010年)に入り、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を前面に出したお客さま本位の営業に取り組んできました。

法人取引においては、高い専門性を有する人財力と多様な機能を有する組織力を活かし、中小企業(オーナー)が抱える課題解決に注力し、個人

成 果

<p>システムの安定化と地域経済活性化を目指しています。</p> <p>また、IoTの急速な進展やお客さまの行動変化に対応していくため、2016年4月に他地域へのマルチバンク展開を可能とするiBank事業を立上げるなど、先進的な取り組みにも積極的にチャレンジしてきました。</p> <p>FFGは、失敗を恐れず、時代の変化を先取りした戦略オプションを選択・実行していくことで、絶えず進化を続けていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営統合 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 2007年4月 熊本ファミリー銀行(現在の熊本銀行) ☑ 2007年10月 親和銀行 ☑ 2019年4月 十八銀行 ● 会社分割による不良債権との訣別 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 不良債権比率:5%台→2%台へ改善 ● iBank事業(全国の地銀8行が参画)
<p>という特有の経営スタイルを確立しています。</p> <p>これは、お客さまや地域社会へのコミットメントを維持しながら、規模の利益や効率性を同時に追求できる、地方銀行の経営統合に最も適した経営スタイルです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 規模の利益(2007年度→2018年度) <ul style="list-style-type: none"> ☑ 連結当期純利益:+513億円 ● 効率性の追求(2007年度→2018年度) <ul style="list-style-type: none"> ☑ 経費:▲177億円 ☑ 人員:▲1,350人 ☑ OHR:▲6.3%
<p>に行ってきました。</p> <p>今後も、これまで培ってきたダイバーシティの土壌を活かし、異業種との人財交流や多様な人財・働き方に応えるための評価・処遇設計などを通じて、事業戦略と外部環境の変化を踏まえた適切な人財マネジメントを行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェルエスマネジメントトレーニー制度 <ul style="list-style-type: none"> ☑ FP1級取得者:約400名 ● 女性管理職 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 管理職全体の5.0%(57名) ● キャリア採用者数 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 145名(うちデジタル・IT専門人財42名)
<p>一体での運営体制を構築しています。</p> <p>2018年7月には、金融サービスの高度化に関する研究開発を担う「R&Dビジネスファクトリー」を設立し、2019年5月には、次世代バンキングシステムの構築を担う「ゼロバンク・デザイン・ファクトリー」を設立するなど、今後も将来の環境変化を踏まえたグループ機能の強化に努めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 2018年7月 R&Dビジネスファクトリー設立 ☑ 2019年4月 人材紹介業務への参入 ☑ 2019年4月 リース機能追加(十八銀行) ☑ 2019年5月 ゼロバンク・デザインファクトリー設立
<p>FFGは、この九州を一つの経済圏と捉え、九州経済の約6割を占めるマザーマーケット、福岡県・熊本県・長崎県を、それぞれの銀行が隅々まで「面」でカバーするとともに、福岡銀行が持つ九州他県のネットワークを「線」で結ぶことで、九州全域を継ぎ目なくカバーする「広域展開型地域金融グループ」です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内店舗数:428拠点 (地銀総資産上位10行平均 255店舗) ● 海外拠点数:8拠点 ● ATM数:2,500台超
<p>取引においては、充実した商品ラインアップや利便性の高いサービス提供を通じて、お客さまからの支持を獲得することで、営業基盤の飛躍的な拡大を図ってきました。</p> <p>今後も、お客さまのニーズにマッチした最適なソリューションを提供していくことで、持続的な成長を続けていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 総貸出金平残:+3.6兆円(2007年度→2008年度) ● 総資金平残:+4.0兆円(2007年度→2008年度) ● 法人取引先数 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 約22万先 ● 個人取引先数 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 約576万先

長期ビジョン達成に向けた経営の方向性

長期ビジョン

持続的に高い競争力・成長力を実現する

ザ・ベスト リージョナルバンク

進化のステージ(2016.4~)

第1ステージ
第5次中期経営計画(2016.4-2019.3)

進化に向けた取り組みの加速化

進化の具現化

新しい取り組み
へのチャレンジ

● iBank事業の展開



● キャッシュレスへの
取り組み(YOKA!Pay)



● オンラインレンディング(ファストパス)

● デジタルトランスフォー
メーションの推進
(銀行ビジネスそのもの
を再定義)

● デジタル化のエンジン
構築
(データ利活用/API基盤
利活用/アジャイル開発)

コア事業の
磨き上げ

● 事業性評価への積極的な取り組み
(中小企業向け貸出金平残+0.7兆円)

● 資産形成・資産管理ニーズの喚起
(積立投資信託先数+3万件)

● 資産運用のスペシャリスト育成
(ウェルスマネージャー+約200名)



● 業務プロセスの再構築
→約2割の業務を効率化
(ペーパーレス/印鑑
レス/バックレス/セルフ
取引拡大)



(収益曲線のイメージ)

十八銀行との
経営統合

● 経営統合

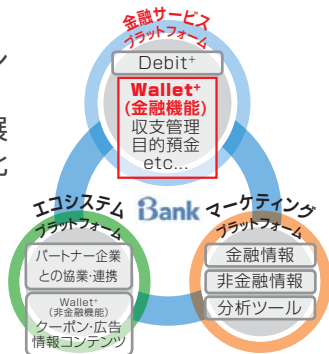
あらゆる変化に柔軟に対応できる組織になるとともに、人財力とデジタル技術を活用し、金融の枠を超えてお客さまのために行動することで、お客さまの成長と地域経済の発展に貢献する金融グループ

第2ステージ

第6次中期経営計画(2019.4-2022.3)

更なる事業領域拡大に向けた基盤構築

- オープンイノベーションの積極化
(iBankマルチバンク展開の拡充/デジタル化支援/ベンチャー支援)



経営資源の投入

- 事業モデルの高度化
 - ☑ 法人/個人金融サービスの高度化
(総貸出金平残 +1.0兆円、投資信託残高 +0.5兆円)
 - ☑ 市場運用の高度化

- 親和銀行と十八銀行の合併
(新銀行設立)

第3ステージ～

第7次中期経営計画～(2022.4～)

コア事業におけるトップライン引き上げ
従来の延長線上ではない新たな成長の実現

- 金融の枠を超えたサービスの提供/事業展開
(お客さまの行動変容に即した革新的なサービス)

新たな事業の成長領域

コア事業の成長領域

- 統合シナジー最大化へ向けた取り組み

強みを活かして価値を創造するFFG

ふくおかフィナンシャルグループは、経営環境が大きく変化する中、これまで培ってきた強みを活かして事業を展開し、総合的な金融サービスの提供を通じて価値を生み出しています。

経営環境の変化

人口減少・少子高齢化

労働力の減少
マーケット縮小
長生きリスク

低金利環境の長期化

預貸金を中心とした
ビジネスへの逆風

デジタル技術の進展

IoT促進、消費者行動の変化、
デジタルネイティブ台頭、
新たな競争相手出現

法改正・規制緩和

競争の拡大、
事業領域拡大の可能性

サステナビリティへの貢献への期待

SDGs対応

培ってきた強み (INPUT)

失敗を恐れない 企業風土

【グループ経営理念】
ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最良な選択を後押しする、
すべてのステークホルダーに対し、
価値創造を提供する
金融グループを目指します。

【ブランドスローガン】
あなたのいちばんに。

【コアバリュー】
・いちばん身近な銀行
・いちばん頼れる銀行
・いちばん先を行く銀行

シングルプラットフォーム・マルチブランド (グループ全体最適の追求)

高度かつ 多様な人財

グループ 総合力

広域かつ 稠密な ネットワーク

確固たる 営業基盤

シングルプラットフォーム

マルチブランド

FFG

ふくおかフィナンシャルグループ

ガバナンス	リスク管理	共通の 事務システム	内部管理態勢	商品サービス 企画
-------	-------	---------------	--------	--------------

商品・サービスラインナップの共有

証券会社、カード会社、
コンサルティング会社など

福岡銀行

熊本銀行

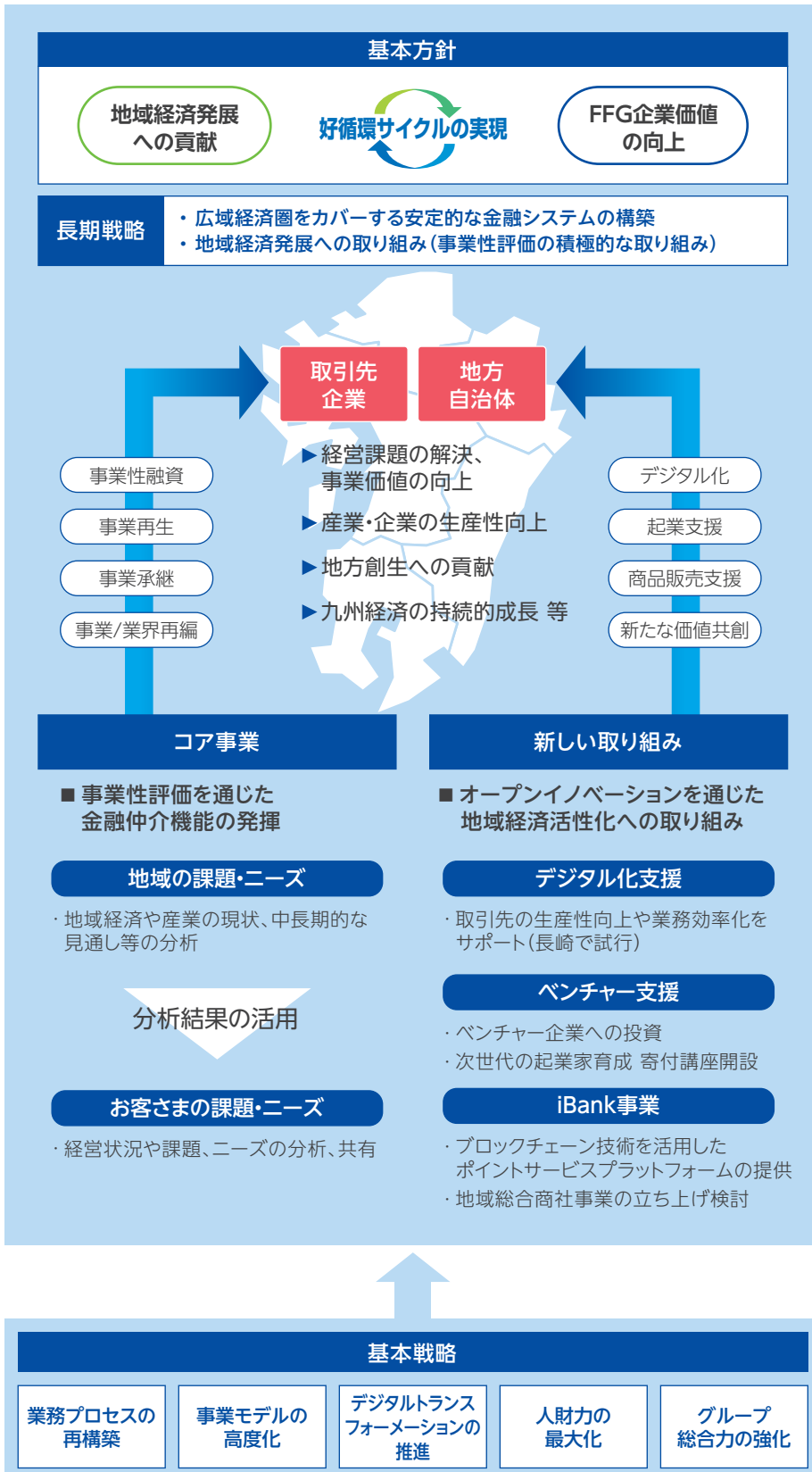
親和銀行

十八銀行

お客さま・地域社会

事業活動 (BUSINESS ACTIVITIES)

価値創造 (Value)



金融サービスを通じた
お客さまの課題解決

地域経済の
活性化・発展

専門性の高い
多様な人財と
働きがいの向上

株主還元の充実

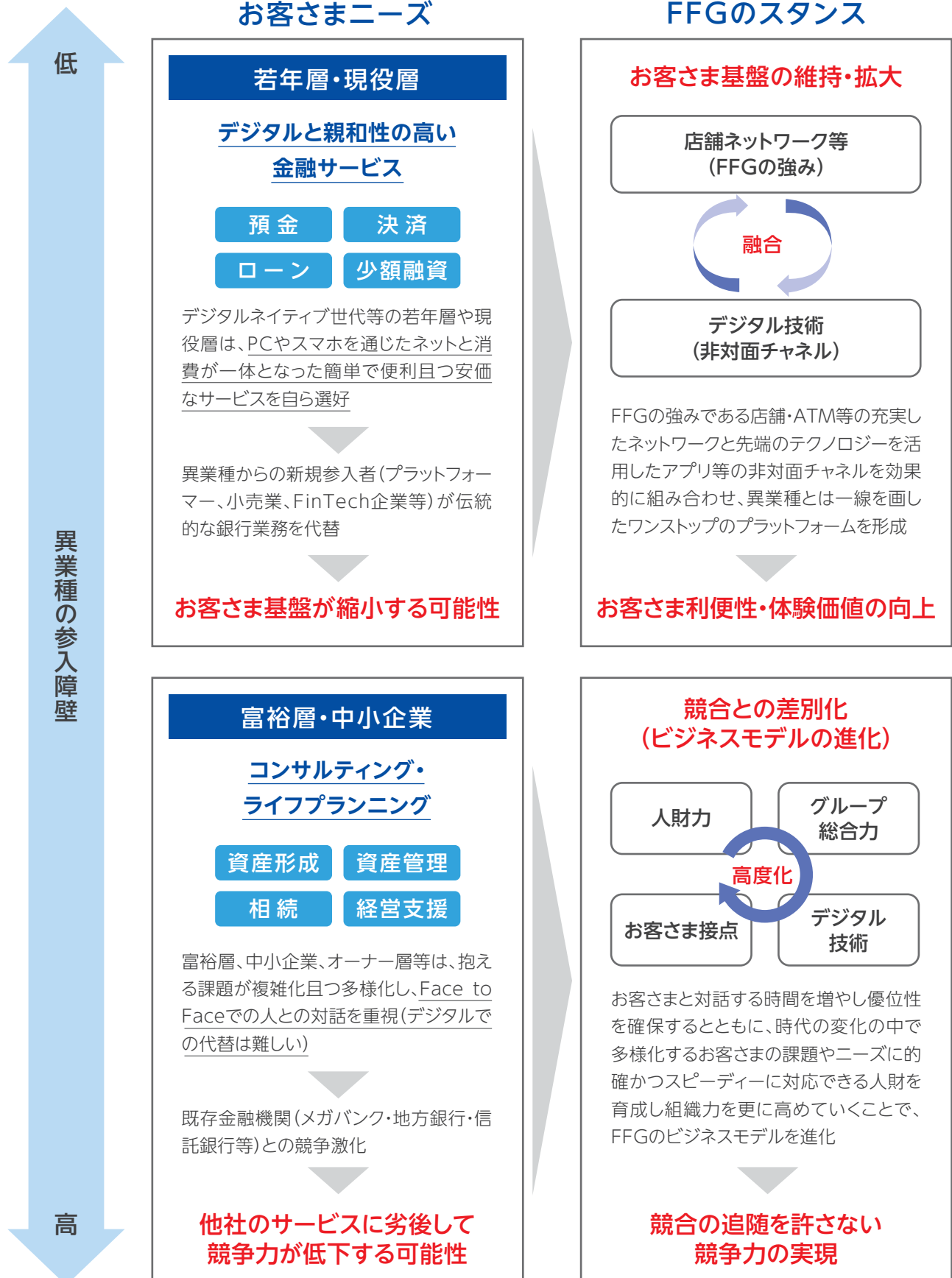
社会・環境課題の
解決の貢献

強みを活かして価値を創造するFFG

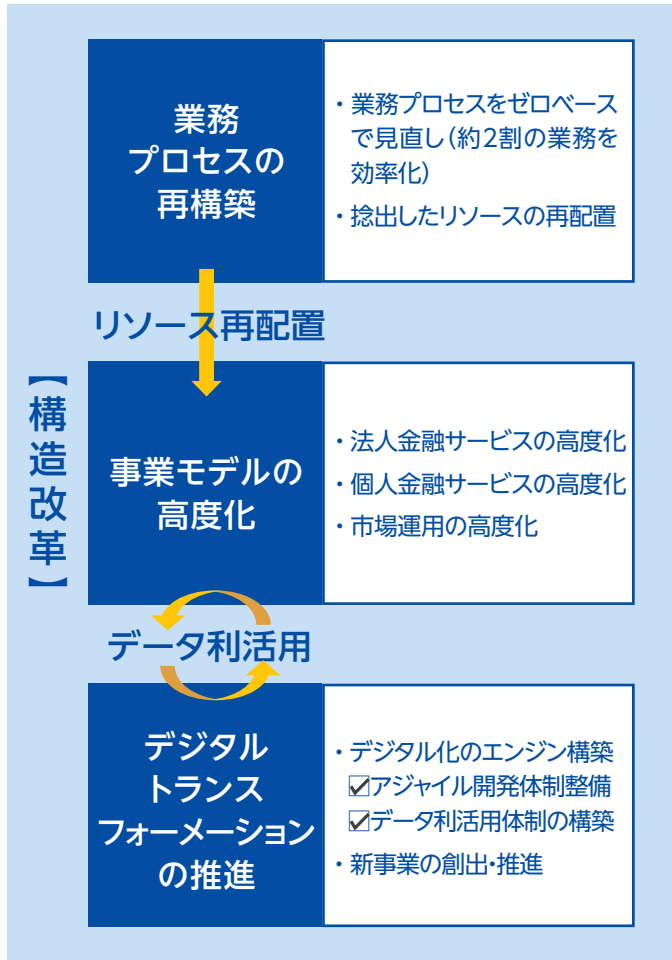
価値創造に向けた事業活動を支える基本戦略

お客様の行動の変化やニーズの多様化に対応した基本戦略を着実に実行することにより、地域経済発展への貢献と企業価値向上の好循環サイクルの実現を目指します。

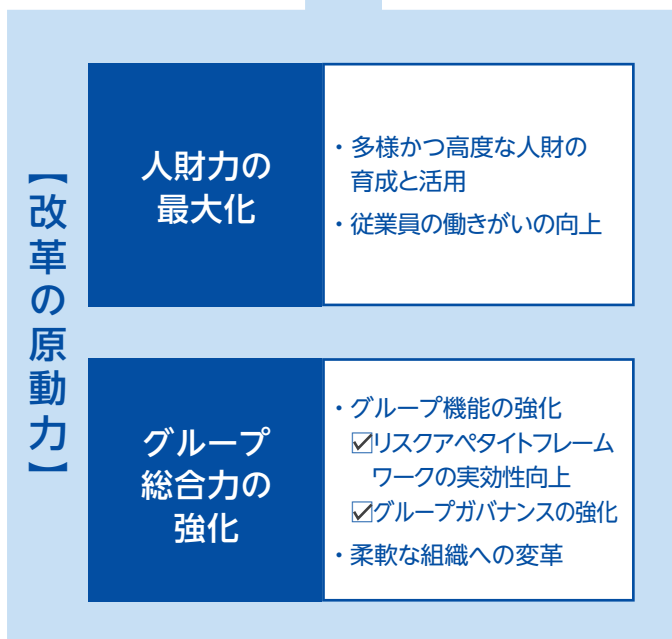
価値創造に向けた事業活動を支える基本戦略



基本戦略



構造改革を下支え



FFG企業価値向上

目標指標(2021年度)

収益性	連結当期純利益	575億円
	ROE	6%程度
健全性	自己資本比率(AIRB基準)	12%程度
効率性	連結OHR	60%程度

【参考】

成長性	総貸出金平残*	13.9兆円
	総資金平残	18.3兆円

*FFG・政府向け除く

資本の最適活用

健全性維持に必要な資本の確保を前提に、企業価値向上に向けた積極的な成長投資を実施

株主還元の充実

安定的な利益成長による継続的な配当(維持・増配)



地域経済発展への貢献

